

平成22年度上期 福島第一品質監査部 活動状況報告

原子力品質監査部 福島第一品質監査部

1. 業務品質監査（平成22年4月～平成22年9月実施分）

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
総務部 建築グループ	H22.5.27～H22.6.7	監査対象業務として「プラントに係わる需要箇所契約（請負）の実施状況」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 外観検査による検収後、当直にて通水確認が行われ、漏えいの有無を確認しているが、通水確認も検収時の完了検査の1つと思われることから、当直の実施した通水確認にあわせて工期を変更する等、需要箇所追加仕様書の完了確認・検証を明確にし、的確な検収を行うことを要望する。
第二保全部 保全計画グループ	H22.5.12～H22.5.28	監査対象業務として「溶接事業者検査の取り纏め業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし
品質・安全部 安全管理グループ	H22.4.27～H22.6.3	監査対象業務として「法定主任技術者に対する支援業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし
防災安全部 防護管理グループ	H22.5.28～H22.6.23	監査対象業務として「発電所構内出入管理業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 委託業務の単価契約分を実施する際、「業務委託依頼票」に実施日、実施場所、実施時間等の必要事項が明確となっていないことから、依頼内容を明確にすることを要望する。
品質・安全部 品質保証グループ	H22.6.3～H22.6.25	監査対象業務として「協力企業との品質保証活動推進業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし
第一保全部 タービン(1・2号)グループ	H22.5.13～H22.7.14	監査対象業務として「1号機 SW ストレーナ修理工事」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし
第一運転管理部 放射線・化学管理グループ 第二運転管理部 放射線・化学管理グループ	H22.6.7～H22.7.9	監査対象業務として「気体廃棄物管理業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 現場訓練で得たノウハウを手引きに纏め、更に福島第一独自に写真や注釈を多用し経験の浅い人にも配慮した手引きは、当社現場の作業効率の向上、技術の伝承に繋がる良好事例といえる。
技術総括部 放射線安全グループ	H22.6.21～H22.7.8	監査対象業務として「個人線量管理業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
第一運転管理部 発電(1・2号)グループ 第二運転管理部 発電グループ	H22.7.21～H22.8.19	監査対象業務として「運転操作手順書改訂業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 運転操作手順書改訂業務にあたって手順書評価検討会を設置し、改訂状況管理表を用いて、操作手順書改訂全体を的確に管理していく仕組みを構築していた。これはプラントの安全安定運転に寄与する取り組みであることに加え、提案に対して各号機の担当者が個別に検討するのではなく、検討会の中で合同で検討するため、効率面も向上していると評価され好事例といえる。
広報部 サービスホールグループ	H22.8.3～H22.9.6	監査対象業務として「見学者（お客さま）満足度向上活動の推進」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 単価契約において、「業務委託依頼票」にて委託先に依頼した実施数量を変更する場合、当初の変更内容を明記した「業務委託依頼票」を新たに発行し委託先に変更依頼すべきところ、変更手続きを実施していなかった。 【要望事項】なし 【良好事例】 サービスホールの来館者やイベント参加者の希望者に対し、ダイレクトメール（以下、DM）によるイベント案内を実施しているが、年々発送数の増加に伴い発送費用が増加してきたため、DM 発送対象者を厳選する取り組みとして、過去3年間程度イベントに一度も参加されていない方を対象に今後の DM 発送継続の意志確認を行い、「継続しない・無回答」の方の DM 発送を取り止めることとした。これにより、発送費用の削減を図るとともに、今後も同様の DM 発送継続の意志確認を行っていくことで継続的なコスト削減に寄与する好事例といえる。
技術総括部 業務システムグループ	H22.6.23～H22.8.17	監査対象業務として「システム保守・運用管理業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 店所個別システムは、各部、各グループが主体的にシステム開発を行っているため、業務システムGでは各システムの利用方法やシステム構成を把握できていなかったが、災害時等に店所個別システムの早期復旧を支援する目的で、各システムの復旧優先度、利用イメージ、システム構成図等の調査を自主的に実施した。これは、業務システムGが発電所内の店所個別システム全体を把握し、災害時に各システム復旧優先順位に基づく速やかな対応に寄与する好事例といえる。
第一保全部 電気機器(3・4号)グループ	H22.8.23～継続中	監査対象業務として「3G 超高圧開閉所機器取替工事」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	監査報告書作成中
総務部 人事グループ	H22.8.30～継続中	監査対象業務として「研修関係業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	監査報告書作成中
第一保全部 計測制御(3・4号)グループ	H22.9.1～継続中	監査対象業務として「1F-3M HPCI（高圧注水系）制御装置取替工事業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	監査報告書作成中
第二保全部 タービングループ	H22.9.15～継続中	監査対象業務として「6T T/D RFP（タービン駆動原子炉給水ポンプ）ミニマムフロー配管修理（溶接事業者検査含む）」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	監査報告書作成中
第一運転管理部 3・4号当直	H22.9.2～継続中	監査対象業務として「3号機の燃料装荷業務」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	監査報告書作成中

2. 特別監査  
対象なし

3. 平成21年度下期末，監査継続中等で監査結果が確定していなかったもの

監査対象部門/件名	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
第二保全部 高経年化プロジェクトグループ	H22.3.25～H22.4.8	監査対象業務として「高経年化に関する技術評価業務」について確認するとともに，あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 不適合処置において，実施すべきヒューマンエラーの直接原因分析が，発生後1年経過しても実施されていないことから，適切な管理を要望する。
防災安全部 防災安全グループ	H22.2.17～H22.4.9	監査対象業務として「火災対策・危険物管理の総括業務」について確認するとともに，あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 防災安全Gでは，安全推進協議会の協力のもと，発電所内の現場で危険と思われる箇所を協力企業の方から意見を頂き，メンバーが実際に現場に赴き写真を撮影するなどして「危険予知（現場管理の視点）・ワンポイントシート集」と「ドキッとすする災害事例集」を作成した。この事例集を各グループに配布するとともに，安全推進協議会各社へ配布，fuku1 企業ネットへ公開するなど，多くの方が活用できる環境にあり，社員及び協力企業のヒューマンエラーや設備および人身災害の未然防止に役立つとともに現場力向上が期待できる好事例といえる。
第一運転管理部 作業管理グループ 第二運転管理部 作業管理グループ	H22.2.25～H22.4.7	監査対象業務として「クリアランスパッケージ作成業務」について確認するとともに，あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 デイリー工程表で決定した時間に対し現場での待ち時間が発生した作業の割合を低減するために，PTW（作業許可証）プロジェクトチームがケーススタディを作成し，教材として活用していた。ケーススタディは，原因分析に基づき，主要原因である4つの事例について，当直員の守るべき行動や，注意すべき事項について図等を用い，若手当直員にも分かりやすく作成する等，当直員の理解向上に有効な好事例といえる。

以上